nómi

能美［のみ］市議会だより

令和８年９月定例会

12月 3月 9月 6月

vol. 94

2026.11.1 発行



寺井高校美術部２年

中田（なかだ） 凛（りん）

「モンブラン」

PICK UP

01 特集｜委員会が年間テーマを調査・提言 p.2

02 定例会報告｜令和７年度決算などを審査 p.4

03 一般質問｜15 名の議員から質問 p.7

議会の２つの常任委員会が年間テーマを調査・提言！

能美市議会では、総務産業常任委員会と教育福祉常任委員会の２つの委員会が、市政の重要な事項について年間テーマを決めて、昨年 10 月から調査研究に取り組んできました。９月定例会でその結果を報告、提言を行いました。
今回はその概要をお伝えいたします。

詳しくはコチラ！

テーマ ウォーター PPP（上下水道分野の官民連携）

総務産業常任委員会

概要、調査目的

市民の暮らしを支える上下水道

持続可能な事業運営に向けて官民が連携する「ウォーターＰＰＰ（上下水道分野の官民連携）」の調査・研究を行いました。先進地視察を通じて、民間任せにするのではなく、行政が発注者として主体性を持って事業の実施状況を確認し、自らの技術力を維持し続ける重要性が確認されました。

上下水道事業が抱える課題

全国の自治体と同様に施設や管路の老朽化が進む一方で、人口減少に伴う料金収入の伸び悩み、技術系職員の不足や高齢化、災害時の迅速な復旧体制の確保など、さまざまな課題に直面しています。
※ウォーター PPP の活用が注目されています。


▲神奈川県庁での視察

先進地視察

○神奈川県企業庁が発注する箱根地区水道事業包括委託
行政が事業主体となり、民間事業者に水道施設の維持管理業務を中心とした委託を行うものです。

○三浦市公共下水道コンセッション事業
民間事業者に施設運営権を設定し、料金収受、管路施設の増築・改築を含む事業運営を包括的に委ねるものです。


▲三浦市での視察

持続可能な事業運営の確保に向けた３つの提言

調査結果を踏まえ、委員会では次の３点を市に提言しました。

1．施設台帳などの基礎情報を着実に整備し、施設・管路の現状把握と更新需要の見通しを明確にすること。
2．行政が発注者としての責任を果たすため、「技術力とモニタリング能力の維持・強化」及び「人材育成と技術継承」に取り組むこと。
3．各事業の特性に応じた「段階的な官民連携も視野に入れた計画的な準備」を進めること。

市民の皆さまの暮らしを支える上下水道サービスを将来にわたり安定的に提供し続けるため、能美市に最も適した持続可能な仕組みづくりに向けた取組を、計画的かつ早急に進めるよう求めています。

テーマ 能美市立病院のあり方

教育福祉常任委員会

概要、調査目的

市民に必要な新病院を目指して

能美市立病院は近年、多くの経営課題解決とともに、建物の老朽化への対応が求められています。
市では、令和８年５月に「能美市立病院　新病院基本構想」を策定し、この構想のもと今後は、具体的な「新病院基本計画」を策定します。
当委員会では今後策定される「新病院基本計画」に意見を反映するため、先進事例の視察、市民の意見聞き取り等により調査研究を実施しました。

市立病院が抱える課題

医師、看護師等の確保や、外来患者の減、施設の老朽化、病床数の適正化などに加え、近年の市一般会計からの交付税措置のない繰入金の状況から見える病院経営の状況や、建設費・人件費の高騰の中での新病院建設に係る収支など、さまざまな課題があります。

市民との意見交換会

７月 21 日、「町会・町内会」「女性会」「老人クラブ連合会」「民生委員児童委員協議会」「PTA」からと、「市立病院利用者」にお集まりいただき
・どのような病院が必要か。
・どのような病院が欲しいか。
・医療機関の連携はどのようにあるとよいか。
をテーマに、活発に意見交換が行われました。


▲意見交換会では全体会、３班の班別で議論が交わされました

「新病院基本計画」策定にあたり４つの提言

調査結果を踏まえ、委員会では次の４点を市に提言しました。

1．新病院の立地場所の選定にあたっては、選定理由を示し、市民の理解を得られるよう努める。
2．新病院建設前から事業採算性の向上を図り、赤字額の圧縮を図るとともに、新病院建設の財源計画を示す。
3．コスト・品質・工期のバランスを考え、「CM 方式」や「ECI 方式」の採用など、最適な発注方式を検討する。
4．市内や周辺自治体の病院とのバランスや役割分担を見極め、南加賀全体を見据えた広域連携を図るとともに、運営形態についても調査研究する。

能美市立病院が、市民の皆さまから信頼され、必要とされ続ける地域医療の中核として、その役割を将来にわたり果たすことに、大きな期待を寄せ、引き続き、新病院建設への対応に注視し、必要な支援と提言を行っていきます。

令和８年９月定例会

定例会報告



令和８年９月定例会が９月１日から 18 日まで(18 日間)開催され、審査の結果、議案 23 件すべてを可決しました。
請願２件は不採択となりました。



- 市長提出議案 …… 22 件
- 請願 …… 2 件
- 議員提出議案 …… 1 件

補正予算等

◀ 今号では、この中から「2 議案」をピックアップ！

PICK UP 1

議案第 56 号　令和８年度能美市一般会計補正予算（第２号）　２億1,800万円

保育園共通管理費　予算額 210万円

公立認定こども園で、家庭から毎日３枚持参している0歳児、1歳児の手拭きタオルを廃止し、ウエットティッシュを活用することで、保護者、保育士双方の負担を軽減します。



公立認定こども園でウエットティッシュを導入▶

Q 保育士の負担は時間数で換算するとどれくらい軽減されるのか。

A 現在１日３回行っている手拭きタオルの準備・片付け作業が不要となることから、保育園の規模にもよるが、１日あたり０歳児クラスでは30分、人数の多い１歳児クラスでは60 分の負担軽減が見込まれる。
市内12 園の公立園全体で換算すると、１日あたり約18時間の削減につながる。

中小企業経営支援助成費　予算額 270万円

中東情勢の悪化により、資金繰りに支障をきたしている事業者を支援するため、石川県が令和８年６月に新設した「中東情勢対応緊急特別融資」を受けた市内中小企業者に対し、利子の一部を補助します。

Q 県が新設した中東情勢対応緊急特別融資を申し込みした企業は現在能美市で何社あるのか。融資総額はいくらか。

A 現在把握している融資件数は８月末現在で26 件で、総額は約７億5 千万円。

Q 申し込み状況はどのように把握しているのか、また周知方法はどうか。

A 県の信用保証協会からの情報提供。制度の周知は市ホームページでの紹介のほか、商工会や金融機関にも情報提供して共有を図る。

PICK UP 2

議案第 61 号　令和７年度能美市一般会計歳入歳出決算認定について

６次産業推進事業　決算額 59万円

能美市産農林産物を活用した加工品の開発や改良等に対して補助金を交付しています。



Q 令和７年度も、６次化商品の開発へ２件の補助金が交付されているが、どのような商品か。

㊤国造ゆずマルチバーム▶
㊦黒ニンニク



A １件目は、県外企業による「国造ゆずマルチバーム」であり、これは、従来廃棄していたゆずの搾り皮を利活用し、ゆずを無駄なく使用した、全身の保湿やケアに活用できる多機能クリームである。
２件目は、「黒ニンニク」であり、能美市に移住した方が、食から始まる循環社会を目指して、市内で起業し、地元若手農業者が根上砂丘地において栽培している「にんにく」を使って黒ニンニクに加工したものである。

能美市誕生20周年記念ふるさと愛醸成事業　決算額 2,155万円

市誕生20周年を記念し、ふるさと愛の醸成と能登半島地震からの復旧・復興に取り組む町会・町内会への補助です。

Q 補助金の利用用途で主要なものは何だったか。どのような効果があったか。

A 公民館などにテーブルや椅子、テントなどの備品購入や、パソコンやプロジェクター、大型モニターなどデジタル環境を整備した町会・町内会が複数あった。夏まつり等の住民が集う地域行事の開催などで住民同士の親睦・交流を深めるとともに、地域コミュニティの維持・活性化にも寄与できた。

指定ごみ袋製造事業　予算額 1,286万円

指定ごみ袋製造費用の高騰により、現予算だけでは必要数を確保できないことから、不足分の製造費用を増額して対応します。



Q 必要枚数はどれだけか。これからも物価高騰が予想されるが、今回の不足額はどのような経緯で生じたものか。

能美市指定ごみ袋▶

A 令和８年度の必要枚数は285万枚である。当初予算により、今年５月に今年度分の発注を１回で行う予定だったが、価格高騰の影響を受け、約６割の174万枚しか発注できなかったことから、今回、残りの分である111万枚を追加製造するために補正を行うものである。

※予算額の１万円未満は切り捨てて表示

市政のココを問う！

一般質問

市のさまざまな施策や課題等について、議員が自身の提案も含めて市の考えを質すのが一般質問。
９月定例会で出された「109」の質問から、厳選した内容をダイジェストで紹介します。

交流人口の拡大
居場所づくりと地域のつながり p.7
台湾との交流促進 p.8

行財政改革
第３次総合計画の位置づけ p.8
根上総合文化会館の改修 p.9
旧はまなすの丘の解体撤去 p.13
健全で働きやすい職場づくり p.14

地場産業振興・企業誘致・人財確保
農業・農村の振興 p.9
市独自の営農継続策 p.12

教育力の向上
学校再編、周辺施設と複合化 p.10
部活動の地域展開の環境整備 p.11

子育て・住環境の充実
安全・安心な適正保育 p.10

安全安心のまちづくり
小中学校体育館の空調整備 p.11
防火水槽の設置計画 p.12
新病院建設の進捗状況 p.13
小中学校体育館の空調設置 p.14

15名が登壇

詳しい内容はこちらから
YouTube　会議録
※９月定例会の会議録は12月上旬に公開予定です

本紙掲載以外の質問については、各議員のページに設置している二次元コードからYouTube でご覧いただけます。

居場所づくりと地域のつながりを

答弁 **関係機関と情報共有・連携を強化**

山本（やまもと） 峰子（みねこ） 議員　のみの虹



Q 誰もが参加できる「居場所」づくりへの支援について問う

A のみ地域力強化支援ファンド等の支援制度に加え地域活動やコミュニティーサポーターなどの地域資源を活かし、活動を始めたい市民が必要な情報や活動場所、協力してくれる人や団体、支援活動につながりやすくなるように支援していく。

Q 市民の「やりたい」を地域の力につなぐ仕組みについて問う

A コミュニティーサポーターや市民協働まちづくりセンター「のみにこ」、町会・町内会、自治公民館、関係機関などとの情報共有と連携を進め、適切な人や団体、活動場所、支援制度へ橋渡しできるよう、既存の仕組みを生かしていく。
市民や団体の自主性を尊重しながら、「やってみたい」という思いが地域のニーズと結びつくよう、関係機関と連携していく。

こんな質問も
・切れ目ない支援
・伴走支援体制
・重層的支援体制



▲つながることから始まる、地域の居場所（イメージ図）

傍聴者の声　小学生の傍聴は、子供達にとても良い機会、他の学校でもあれば良いと思いました。

私はこう考える！討論で「賛成」「反対」

議案第61号　令和７年度能美市一般会計歳入歳出決算認定について

反対 佐伯 富美子 議員（日本共産党）
市民は物価高騰で苦しんでいる
医療費助成所得制限、ひとり親家庭支援事業削減など、福祉や暮らし、教育事業の縮小・削減は市民の理解を得られない。

賛成 荒井 昌宏 議員（創生のみ）
各事業が着実に執行されている
地域共生交流館建設事業、能美根上駅周辺活性化整備事業などが適切に行われ、各事業が着実に執行されている。

請願

賛成少数で不採択 **日本政府に非核三原則の堅持を求める意見書の採択を求める請願**

現政権では、国際情勢の緊張の高まりを背景に非核三原則の見直しを検討する動きが活発化している。核兵器を取り巻く国際情勢が一層厳しさを増す今だからこそ、非核三原則は我が国と地域の安定を築く基盤として、今後も確実に守られるべきものである。非核三原則を堅持し、核兵器のない平和な世界の実現に向け積極的に取り組むよう要望する。

請願者：能美市9条の会準備会　世話人代表　近藤　啓子　　紹介議員：佐伯 富美子

賛成少数で不採択 **「消費税率５％以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める意見書」の採択を求める請願書**

飲食料品に対象を絞り、２年間のみとする減税案では、物価引き下げ効果は限定的で不十分。特定品目に限定した税率変更は業界間の不公平を生み、分断を広げることにもなりかねない。一律５％に減税し、単一税率になれば、計算の事務負担が軽減。さらにインボイス制度も不要となる。以上の趣旨から、次のことを請願する。
1. 「消費税率５％以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める意見書」を国に提出すること

請願者：小松民主商工会 能美支部 支部長　小藤　太朗　　紹介議員：佐伯 富美子

９月定例会　議決結果と議員の賛否

全議案の議決結果は市議会ホームページで公開しています

議案23件・請願２件のうち賛否が分かれた議案　○：賛成　×：反対

議決結果		山崎 主税	牧野 緑	山本 峰子	中野 廣志	荒井 昌宏	中村 純子	澤田 貞	佐伯富美子	今尾 晃司	卯野 修三	仙台 謙三	山本 悟	田中大佐久	田中策次郎	南山 修一	東 正幸
令和７年度能美市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○
令和７年度能美市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○
令和７年度国民健康保険能美市立病院事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○
日本政府に非核三原則の堅持を求める意見書の採択を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		×	×	×	×
「消費税率５％以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める意見書」の採択を求める請願書	不採択	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×		×	×	×	×

● 能美保守の会　● 創生のみ　● 流和のみ　● 公明党　● 清風　● 日本共産党　● 会派・漸進　● のみの虹　● 無会派

台湾との観光、産業、スポーツ交流を



南山 修一（みなみやま しゅういち）議員
流和のみ

答弁

観光誘客やスポーツ交流を進める

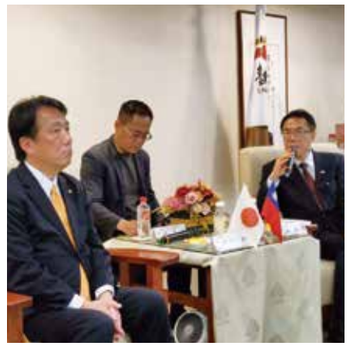
Q **7月に視察で訪れた台湾との交流促進や観光客受け入れの展望を問う**

A 今回の視察で得られた手応えは、大きく3点。

1点目は、台南市との交流である。観光、産業、スポーツなどの分野で意見交換を行い、具体的には、台南市に近い高雄空港と小松便が就航することでの観光誘客や産業振興、九谷焼を介した交流の促進、競歩の合宿誘致などを進める。

2点目は、教育旅行の誘致である。台湾旅行業界との懇談が実現し、九谷陶芸村での体験、自然を生かしたフィールドアスレチック、動物園などに関心が寄せられた。石川県や近隣自治体とも情報を共有し、連携する。

3点目は、特産品の輸出、販売である。今回の視察は、台湾との交流の可能性を確認する第一歩であると同時に、実務的かつ継続可能な交流を着実に積み重ね、相互理解と信頼関係を深めていく。



▲井出能美市長（左）、台南市長（右）との懇談

こんな質問も
・8050問題
・アウトリーチ

来年度以降の根上総合文化会館は



中村 純子（なかむら じゅんこ）議員
会派・漸進

答弁

文化施設と行政窓口が一体的に

Q **根上総合文化会館は教育委員会移転後の令和9年度以降も休館せず利用できるか**

A 教育委員会は来年5月上旬頃、本庁舎北側の防災・機能強化施設3階への移転を予定。その後、根上サービスセンターと根上校下婦人会の移転工事を根上総合文化会館で実施するが、所定の休館日以外の休館期間を設けることなく、従来どおり市民の皆様にご利用いただく計画である。

Q **移転に伴い、どのような整備工事を行うのか**

A 館内は1階に根上サービスセンターを移転し、会館受付は、1階ロビー内のふるさとコーナーを改修し配置予定。2階には、根上校下婦人会が移転する予定である。更に、根上サービスセンターの移転で利用者の大幅な増加が見込まれることや、これまでも駐車場不足の対応に苦慮した経緯があることから、正面玄関前のエントランスとイベント広場を新たに駐車場として拡張整備する。



▲駐車場整備予定の根上総合文化会館正面玄関

こんな質問も
・根上フラワーセンター跡地
・児童虐待対応

第3次能美市総合計画位置づけは



東 正幸（ひがし まさゆき）議員
能美保守の会

答弁

持続可能なまちづくりにつなげる

Q **第3次能美市総合計画では計画と総合戦略を「一体的に策定」とあるが、どんな形をイメージしているか。また、まち・ひと・しごと創生法に基づく地方創生の取組としての位置づけは**

A 総合計画と総合戦略を一つの計画体系とすることで計画策定に伴う策定作業や審議会、パブリックコメントなど手続きの重複を避けるとともに総合計画と地方創生の取組との整合性を確保し、各政策分野の施策を効果的に連動させながら、より実効性のある計画運営と持続可能なまちづくりにつなげる。

Q **総合計画と総合戦略の策定時期にずれが生じることへの認識はあるのか。ずれの解消に向けた対応策を問う**

A 計画期間に空白が生じることは認識している。そのため、第2期能美創生総合戦略の計画期間延長を基本に対応を進め、第3次計画との整合を図って整理し、令和8年度末までに必要な対応をする。



▲総合計画を話し合う市民ワークショップ

傍聴者の声　議員の質問事項のとりまとめ項目が分かり易かった。

農業・農村の振興を問う



牧野 緑（まきの みどり）議員
無会派

答弁

地域農業の発展に向け取り組む

Q **学校給食に100%能美市産の一等米を使用している魅力を、妊婦や移住・定住に繋がる取組として市内外へ広く発信する考えは**

A 妊婦や子育て世代が訪れる健康福祉センター「サンテ」や、大都市圏での移住相談会等を活用して市内外へ発信することは、有効な方法になり得るものと考える。

能美市産米の消費拡大や地域への愛着、移住・定住につながる方策を検討していく。

Q **学校給食の市内産食材の使用を増やし、安定した販路の一つとして学校給食を活用していくことについて問う**

A 給食センターが早期に必要量を示し、農林課や地元農家と作付計画や出荷時期を調整する仕組みを検討する。

安定した食材調達と農家の販路確保、新規就農者の定着支援につなげ、地域農業の発展と魅力ある学校給食の両立を図る。



▲学校給食に使われる食材（イメージ図）

こんな質問も
・学校給食の食材
・食料自給力向上
・特別支援の質

学校再編で周辺施設との複合化を



山崎（やまざき） 主税（ちから） 議員
無会派

答弁　複合化含め総合的に検討していく

Q　根上地区の学校再編に際し、国の有利な補助金や地方債を活用し、市の財政負担をできる限り減らすべきでは

A　学校施設環境改善交付金での補助率かさ上げ、有利な交付税措置がある公共施設等適正管理推進事業債の活用は負担軽減に有効。歳入歳出の両面から最適な方針を見いだし、持続可能な財政運営に努める。

Q　民間の店舗などを併設した「稼ぐ公共施設」の発想を取り入れる考えは

A　施設自体が収益を生み出して維持管理費等をまかなう視点は有効な可能性がある。先進事例を調査研究し、検討材料とするか慎重に判断していく。

Q　子どもや子育て世代と一緒に学校をつくる話し合いの場を作るべきでは

A　方針決定後の具体的な施設利用や運営方法の検討段階で、市民ワークショップやアンケートから最適な方法を選び、児童生徒や保護者、地域住民の声を聴き、丁寧に取り組む。



▲学校再編と複合化の検討が進む根上地区の学校

こんな質問も
・新病院のあり方
・公共施設マネジメント

安全・安心な適正保育を推進せよ



中野（なかの） 廣志（ひろし） 議員
創生のみ

答弁　10月より8時15分出勤の体制に変更

Q　市内認定こども園の16時の迎え時間に、遅れてくる保護者が22％いる。保護者への適正保育の周知を問う

A　7月に適正利用についてコドモンで配信。日頃遅れる保護者には理解と協力をお願いしている。

Q　正規保育士の出勤時間の8時30分までに、約70％の140人が登園する園もある。園児の安全・安心の対策を問う

A　10月より、正規保育士の出勤時間を8時15分に変更する。無理なく継続的に働き続ける勤務体制となるよう、園長が個別に相談に応じ、時差出勤等を調整している。

Q　保育士確保のため、旧盆保育の条件を変更しては

A　旧盆期間の利用を両保護者の就労に限定することは、保育士の労働環境改善に有効な方策。同期間の保育は適正利用をお願いする等、受入れの在り方を慎重に検討する。



▲8時頃より登園が増え始める認定こども園

こんな質問も
・ポケモンマンホール誘致
・地域歯科医療

部活動の地域展開の環境整備を



田中（たなか） 大佐久（だいさく） 議員
能美保守の会

答弁　冷暖房使用料の減免制度見直しへ

Q　学校部活動の地域展開に伴う体育施設の冷暖房使用料について減免制度を問う

A　本市では、少子化が進む中にあっても、子供たちが将来にわたり、安心してスポーツや文化活動に親しむことのできる環境を持続可能な形で整えていくことを、部活動の地域展開の大きな目的の一つとしている。

　体育施設使用料と冷暖房使用料の減免制度の見直しについては地域クラブのみならず、学校の部活動、ジュニアスポーツクラブを含む子供たちの活動全体を対象として、他自治体の取組状況も参考にしながら、関係部署と連携していく。

　減免対象の拡充や制度の整合性、財政的な影響も含めて総合的に見直しを図る。

　教育委員会としては、生徒のスポーツ活動の機会均等を守るという視点を大切にしながら、適切な制度のあり方を次年度の実施に向けて検討していく。



▲体育館での中学校部活動

こんな質問も
・東西連絡道路
・児童の安全対策
・障害者雇用

小中学校体育館に空調を整備せよ



卯野（うの） 修三（しゅうぞう） 議員
能美保守の会

答弁　順次整備するため、計画策定する

Q　県内19市町で小中学校体育館の空調設置率0％は、能美市を含め13自治体ある。財政的な問題など課題は多いが、熱中症リスクなど、市民の命に関わる問題である。指定避難所となる小中学校体育館の空調設備設置に着手する考えはないか

A　まずは、経年劣化が進む小中学校の校舎の空調更新を優先するが、国でも避難所となる学校体育館への空調整備促進のため、文部科学省の空調設備整備臨時特例交付金が令和15年度までの制度で創設されている。能美市としてこの期間を一つの重要な機会と捉え、校舎の空調などの老朽化対策との整合性を図りながら小中学校体育館への空調設備を順次整備するための計画策定を進めたい。

　その際には、防衛省の補助などの活用で財政負担軽減を図りながら、災害時の停電にも対応できるよう、既に空調整備している3つの体育館のLPガス仕様の設備も参考に検討したい。



▲空調が整備されている寺井体育館

こんな質問も
・インクルーシブ
・ヘルメット事業
・子ども権利条例

防火水槽未設置地域の設置計画は



今尾 晃司（いまお こうじ） 議員
流和のみ

答弁

令和12年度までに整備完了目標

Q 防火水槽の定期点検と維持管理の課題は何か

A 市内全215基を対象に年1回以上、外観、水量等について地水利調査を行っており、課題は大きく2点ある。1点目は標識及び赤旗の破損・紛失時における早期の把握、2点目は冬期間の除雪対応。町会・町内会、自主防災組織との連携を密にし、速やかな状況把握と適切な維持管理に努める。

Q 防災体制強化のための整備スケジュールを問う

A 令和12年度までに未設置の11地域全ての整備完了を目標としたスケジュールを策定し、8年度には金剛寺町、鍋谷町の整備を着手した。9年度以降の整備地域も候補を定めている。整備の優先順位は、林野火災や地域孤立時における水利確保の観点から、辰口地区を優先的に整備する計画である。

耐震性防火水槽の整備は地域の安全・安心につながる大切な事業であり、整備完了に向けて取り組んでいく。



▲末信町に整備された耐震性防火水槽

こんな質問も
・財政構造
・基金の確実かつ効率的な運用

旧はまなすの丘施設の解体撤去を



仙台 謙三（せんだい けんぞう） 議員
公明党

答弁

声を聞きできるだけ早期に方向性を示す

Q 介護老人保健施設「はまなすの丘」の旧建物を早期に解体・撤去し、跡地利活用のめどを立て、早期に公表をすべき。市の見解を問う

A 旧はまなすの丘の建物の解体・撤去、跡地の利活用のめどについては、現時点では決まっていない。

跡地の利活用は、地元町内会や市民の意見を丁寧に伺い、今後検討していく必要がある。

解体、撤去には多額の費用を要する。財政面も含め慎重に検討を進める。

Q どのような時間軸で検討しているか

A 跡地利用については、具体的な決定時期を設定していない。

閉鎖後の状況を踏まえつつ、地元町内会や市民のご意見をお聞きする機会を設ける。

そして、できるだけ早期に方向性を示したい。



▲使用されていない旧はまなすの丘施設

こんな質問も
・ストーマ装具等
・バス停の設置
・越境枝・枯木

市独自の営農継続策を問う



田中 策次郎（たなか せいじろう） 議員
創生のみ

答弁

農家の経営実態を把握し検討する

Q 農家が安心して営農継続できるよう、生産コスト支援による営農継続策を問う

A 国や県の経営安定対策や支援制度を最大限活用し、農家の経営継続を支援していく。市独自の肥料・燃料・農業資材等への支援については、対象や手法、他分野との均衡も含め、農家の経営実態を把握しながら慎重に検討していく。

Q 今後の総合的な農家支援の方針について問う

A 県の「いしかわの食と農業・農村ビジョン」を踏まえ、市でも将来にわたり営農を継続できる環境づくりを進めている。農地の集積・集約化、スマート農業や農業機械の導入、麦・大豆などの生産支援、収入保険の掛金助成、農業施設の更新など、総合的な支援に取り組んでおり、今後も地域、農業者、JA、関係機関と連携し、経営安定と担い手確保、持続可能な地域農業の実現を目指していく。



▲いしかわの食と農業・農村ビジョン 2026（ｲﾒｰｼﾞ図）

こんな質問も
・防災の女性参画
・断水時消火活動
・教室避難所活用

新病院建設の進捗状況を問う



佐伯 富美子（さえき ふみこ） 議員
日本共産党

答弁

基本計画は本年度末の完成を見込む

Q 新病院の建築面積や病棟・病床数、事業予算概算は

A 令和13年度の開院を目標に9000平方メートル、病床数100床を基本的規模としている。基本計画は本年度末の完成を目指している。

Q 地域医療連携等の内容、誰が全体を構築するのか

A 急性期疾患、救急対応で、近隣の急性期拠点機能や専門機能のある病院と連携し手術後受入体制、リハビリ機能や在宅支援の充実を図る。地域包括ケア同様、市が中心的役割。

Q 新病院100床のうち療養病床がないのはなぜか。在宅復帰支援や介護施設、老人ホーム設置が求められるのでは

A 市内や近隣の介護施設の整備も見据えつつ、地域の事情に応じた形で必要なサービスが確保されるよう取り組む。



▲新病院構想について話し合う市民

こんな質問も
・「スパイ防止法」と市民の権利
・個人情報保護

健全で働きやすい職場づくりとは



澤田 貞（さわだ ただし） 議員
清風

答弁

互いを尊重し合える職場の構築だ

Q 職員が自ら命を絶ってからの一年間、市長自らの行動や対応を問う

A あの日以来、二度と同じことを繰り返さないという強い決意で市政運営に臨んできた。私が座長を務める風通しの良い職場づくり推進委員会はこれまで9回開催し、協議内容は9月末をめどに職員に提示する。

全ての職員が安心して働き、互いを尊重しながら力を発揮できる職場環境づくりに取り組む。

Q ハラスメント防止に向けた条例の制定を問う

A 大変重要な課題と認識しており、12月議会への上程に向けて調整を進めている。

Q パワハラと認定された場合の職員への適正な処分について問う

A ハラスメント行為と認定された場合、程度に応じて能美市職員の懲戒処分の指針に照らし合わせた上で懲戒審査委員会に処分等の諮問をし決定する。

こんな質問も
・ハラスメント
・豪雨の対処
・情報教育の拡大



▲職員が集えるフリースペースを完備した本庁舎の増築現場

小中学校体育館に空調を設置せよ



荒井 昌宏（あらい まさひろ） 議員
創生のみ

答弁

整備計画の策定を早期に検討する

Q 小中学校体育館で災害時に避難所となる体育館は何か所あるのか、また、体育館の利用が難しい場合は校内の教室等が使用できるのか

A 市内小中学校の避難所となる体育館は11か所であり、全ての小中学校全体を避難所として指定をしており、必要に応じて空調設備が整備されている視聴覚室などの特別教室から活用することを想定している。

Q 政府は、避難所等にもなる公立小中学校体育館等の空調設備の設置率については令和17年度までに100％とする目標を掲げたが、能美市の今後の計画は

A 校舎の空調設備更新の進捗状況を踏まえ、また、校舎の老朽化に伴う改修計画と整合性を図りながら、市政全般の財政状況も鑑み、学校体育館への空調設置に向けた整備計画の策定について早急に検討を進める。

こんな質問も
・感震ブレーカー



▲災害時の小中学校避難所風景（イメージ図）

寺井小児童が議会傍聴

議員の仕事を実感！



９月８日、９月定例会の一般質問日に、寺井小学校の６年生 70 名が本会議の傍聴に訪れました。総合的な学習として、４班に分かれて、１班で議員１人分の質問と答弁を傍聴したほか、市役所内を見学しました。

小学生の傍聴は珍しく、議員や井出市長なども発言の中で、児童へ声掛けを行うなど、議場に良い緊張感が生まれました。

傍聴後、児童からは、これまでは議会が何をしているか知らなかったけれども、議会も市役所も、能美市のために一生懸命働いてくれていることが分かったといった感想が寄せられました。

市議会の傍聴を希望される学校、各種団体は、議会事務局へぜひお問合せください。

能美市議会事務局　℡58－2240





児童の感想より

・市議会で、議員一人ひとりが参加して、一つ一つを聞いてそれぞれの思いを大切にしているのがこの見学で分かりました。議員一人ひとりが一生懸命だからこれからも能美市は良くなっていくと思います。議員さんにはこれからも頑張っていただきたいです。

・小学生から大人まで、いろいろな人達のことを詳しく話していたと思いました。私たちの知らない言葉は多かったけど、ちゃんと考えてくれているということは感じられました。あまり行くことがない場所なので緊張していましたが、市長が寺井小にメッセージをくれて、優しい雰囲気のあるところだったので少し緊張がほぐれて嬉しかったです！

・手話の人がいて耳が聞こえにくい人も来れるようになっていてすごいと思いました !!

発　行／能美市議会
編　集／広報広聴特別委員会
発行日／2026年(令和８年)11月１日

能美のお人柄

能美市で活躍している人々を紹介するコーナー

#15

末信町で 北陸初のハトムギを 農家５軒が守り継ぐ

今回は、のみブランドの「はとむぎ茶」を取扱うＪＡ能美営農経済部の東次長と牧加工センター長にインタビューしました。



ＪＡ能美の皆さん

はとむぎ茶はいつ頃誕生したんですか

昭和60(1985)年に旧寺井町で転作作物として栽培が始まり、ティーパックの商品化もその頃。北陸で初めてハトムギ栽培を始めたのが能美市だと聞いています。それも末信町で作り続けています。そこには農家さんのプライドもあって、私たちも絶やすわけにいかないと思っています。

はとむぎ茶のＰＲポイントは

ハトムギは栄養価が高いことはもちろん、美容効果も期待され、生薬原料としても広く知られています。ＪＡ能美の「はとむぎ茶」は、能美市産100%。ノンカフェインですから、子どもから大人まで、皆さんに味わっていただきたいです。

どこで買えますか

ＪＡグリーン能美・Ａコープですが、市外・県外の方にはネット購入がおすすめです。ふるさと納税の返礼品としても取扱われています。

今後ハトムギを利用した商品開発の動きは

市のご当地グルメを目指して、ハトムギを使った新商品を構想しているところです。以前はカステラや化粧品等もありましたが、ハトムギの粉末化ができると幅広い活用が期待できます。

能美市に期待することを一言

全国的に見られる農業の担い手不足は、能美市も例外ではありません。食〝を守るための担い手は必要不可欠。子どもたちが憧れる仕事の一つとして、私たちと一緒に能美市も「農」の魅力をどんどん発信してほしい。歴史ある農作物を次世代へ残すため、私たちも頑張ります。

お問い合わせはこちら
〒923-1297　石川県能美市来丸町1110番地
☎0761（58）2240／FAX（58）2295
✉gikai@city.nomi.lg.jp

高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザイン(UD)フォントと環境に優しい植物油インキを使用
UD FONT
VEGETABLE OIL INK

広報広聴特別委員会

［委員長］　澤田　貞
［副委員長］　佐伯 富美子

［委　員］
荒井 昌宏　　中野 廣志
山本 峰子　　牧野　緑
山崎 主税

令和８年12月定例会のお知らせ

【会期】12月１日（火）～12月18日（金）

12月　１日（火）	本会議初日	10：00～
12月　８日（火）	一般質問（１日目）	10：00～
12月　９日（水）	一般質問（２日目）	10：00～
12月 18日（金）	本会議最終日	10：00～

ご意見・ご感想フォーム

こちらの二次元コードより議会だよりへのご意見・ご感想を受け付けております。

能美市議会公式 YouTube チャンネル
本会議のライブ・録画映像などを配信中！

マチイロ
電子版も読めます！